

## V. 特記事項

### 1. リカレント教育への取組み

- ・本学ではさまざまな形でリカレント教育に取り組んでおり、「社会人の学び直し」に貢献している。全学部・学科で社会人入試制度があり、さらに学びを深めたい人を専攻科や大学院で積極的に受け入れている。
- ・本学の特性を生かして、特定の職種の人を対象としたスキルアップのための研修会も充実している。薬剤師を対象とした「漢方研修会」、養護教諭を対象とした「養護教諭研修会」、公認心理師・臨床心理士を対象とした「心理臨床研究会」、保育に従事している人や就職・復職を希望する人を対象とした「保育セミナー」、理学療法士を対象とした「認定理学療法士臨床認定カリキュラム研修会」等を実施している。
- ・音楽学部による生涯学習講座(コース・キーボード)は30年以上の実績があり、人生を豊かにするリカレント教育として定着している。

### 2. SDGsへの取組み

- ・本学ではSDGsに関する研究・開発および教育推進・地域連携を行っており、様々な事業を展開している。研究・開発では、海藻成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション(薬学部)、LEDライトのパルス照射による植物栽培技術(理工学部)などがある。また教育推進・地域連携では、もち麦および阿波晩茶の製造・普及(人間生活学部)、ジビエ料理のレシピ開発と提供(短期大学部)などを行っている。このような取組が評価され、消費者庁令和6年度消費者支援功労者表彰「ベスト消費者サポーター賞」を受賞した。
- ・地域連携センターでは、令和3(2021)年度から「地域と考えるSDGs公開講座」を開講し、これまでに5回講座を行っている。各回のテーマは次の通り。第1回「食と農」、第2回「異文化コミュニケーション(手話)」、第3回「サステイナブルファッション」、第4回「子ども家庭福祉」、第5回「家族と地域コミュニティ」となっている。
- ・徳島県および他大学との連携事業として、「とくしまSDGsシンポジウム」、「とくしま国際消費者フォーラム」に毎年参加し、本学の取組みを紹介するとともに、その年のテーマについて国内・海外大学の学生と意見交換をしている。

### 3. データ・サイエンスへの取組み

- ・本学では創立130周年に向けたビジョンにおいて「全学的に文理融合を掲げる数理・データサイエンス・AI教育を実践する。」という方針が示された。この方針のもと、令和5(2023)年度から、大学・短期大学部の全学部・全学科の1年生を対象に全学共通教育科目の「文理学」に「数理・データサイエンス・AI入門」を新設し、情報処理系科目(1科目)とあわせて文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」の認定を目指す教育プログラムを実施している。さらに、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(応用基礎レベル)」の教育プログラムとして、理工学部では電子情報工学科の専門科目(3科目)の内容を見直して、学部のすべての2年生が履修可能とし、人間生活学部においてもメディアデザイン学科の専門科目を学部生に開講している。リテラシーレベル、応用基礎レベルともに、令和6(2024)年度の認定を目指して申請中である。